

江戸・東京歴史文化ルネッサンス 新 基 本 構 想

1. 世界は、21世紀初頭から、歴史的文化的創造による都市間競争（特に首都の都心部）の時代に入り、地球規模の大交流時代が到来している。一方、日本・都市東京の世界に類を見ない超少子・超高齢化社会の課題解決に、今、世界の注目が集まっている。
2. 都市東京は、四百年以上蓄積された世界に誇るべき、傑出した歴史文化遺産を潜在化させている。先進諸国のトレンド「クリエイティブシティ（歴史と創造都市）」とし、都市東京の歴史的伝統と文化的個性を創造し、世界に評価される文化遺産を目指していこう！
3. 静謐で、特別な環境にある皇居東御苑に、復元する「江戸城」は、日本一壮大で美しく、櫓、門、石垣、豊かな水を湛えたお堀は、勇大なスケールで城郭を包みつつ、江戸から東京へと変わりゆく旧城下町へと続いている。
今こそ、城郭都市東京を再生し都市の品格を創造しよう。近未来、江戸城は国の宝となり、国民の誇り（シビックプライド）となり、平和のシンボルとなろう。
4. 日本の城郭建築の最高到達点である「江戸城」は純国産の木材により復元し、伝統工法で、「日本の木・土・石・水・豊かな自然」と「伝統技術の継承」を世界にアピールしていこう。
5. 「伝統」と「革新」が共存・融合するコスモポリタンの文化都市東京にあっては、「江戸・東京歴史文化ルネッサンス（再生と活用）」により、住んで好し、訪れて佳し、楽しさのある都市東京の実現に向けて、新たなクリエイティブな産業を生み出していこう。
6. 歴史的文化的価値により「江戸・東京ブランド」を生み出し、東京から日本の津々浦々へ、東アジアへ、世界の国々へと発信していこう。双方向で交流しあい、力を合わせ歴史文化ルネッサンスを、国内外の「地方創生の礎」としていこう。
7. 江戸・東京歴史文化ルネッサンスは、国家的事業であり、それを支える歴史文化まちづくり運動を進める中核的存在を目指し、産学官民との協働を進め、一人ひとりの期待役割と使命を果たすことにより、持続可能な真の文化観光先進国を創造し、日本の発展に寄与していこう。

2018年4月

一般財団法人 江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会